

# CASBEE®-建築(新築)

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: osk\_CASBEE-BD\_NC\_2014(v.3.01)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	茨木市宇野辺プロジェクト新築工事	階数	地上3F
建設地	茨木市宇野辺1丁目351番2、356番	構造	S造
用途地域	第一種中高層住居専用地域、第二種	平均居住人員	85人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年2月 予定	評価の実施日	2016年10月1日
敷地面積	1,929㎡	作成者	英武 聖恵
建築面積	950㎡	確認日	2016年10月10日
延床面積	2,653㎡	確認者	英武 聖恵

本図を右クリックし、「図の複製」を選択していただくことで、外観図等を印刷付けることができます。

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.9** ★★☆☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

環境品質 Q (縦軸) vs 環境負荷 L (横軸)

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値: 100% (230 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

②建築物の取組み: 88% (203 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

③上記+②以外の: 88% (203 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

④上記+: 88% (203 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q1 室内環境: 2.6

Q2 サービス性能: 2.6

Q3 室外環境(敷地内): 2.4

LR1 エネルギー: 3.9

LR2 資源・マテリアル: 2.6

LR3 敷地外環境: 2.9

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

#### Q 環境品質

##### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.6

音環境	3.0
温熱環境	2.0
光・視環境	3.0
空気質環境	3.0

##### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.6

機能性	2.4
耐用性	2.9
対応性	2.6

##### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.4

生物環境	2.0
まちなみ	3.0
地域性	2.0

#### LR 環境負荷低減性

##### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.9

建物外皮の	5.0
自然エネ	2.0
設備システ	4.7
効率的	2.0

##### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.6

水資源	3.0
非再生材料の	2.4
汚染物質	3.0

##### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

地球温暖化	3.4
地域環境	2.3
周辺環境	3.0

3 設計上の配慮事項		その他
総合	室内環境を向上し、居住者にとってごしやすい環境を提供できるように配慮しました。	特になし。
Q1 室内環境	自然光の効率的な利用と建築基準法を満たすシックハウス対策を行い、居住者にとってごしやすい環境を提供できるように配慮しました。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地や建物の植栽条件に応じた適切な緑地づくりを行い景観を形成している。
LR1 エネルギー	省エネ基準をクリアし、設備システムの高効率化に努めました。	LR3 敷地外環境 建築設備に伴う排熱を抑制して地球温暖化に配慮しています。
Q2 サービス性能	特になし。	
LR2 資源・マテリアル	節水コマを採用する事で節水による資源保護に配慮している。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム 2015年版

## 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H28-0105

Osakafu-新築・既存 2015V1.03

<b>【建物概要】</b>		建物名称	茨木市宇野辺プロジェクト新築工事					
		建設地	茨木市宇野辺1丁目351番2、356番1、357番4					
		用途/区分	集合住宅					
<b>【評価結果】</b>	CASBEE 総合評価	★★★★★				B-		
	CO2削減	★★★★★				3		
	省エネ対策	★★★★★				3		
	みどり・ヒート アイランド対策	★★★★★				2		
再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—		
	太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—		
エネルギー消費量の報告						対象外		
<b>【評価項目】</b>								
省エネルギー対策		① CO2削減						
		② 省エネ対策						
項目		評価内容			スコア	評価		
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価			3.4	3		
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価		建物全体	3.0	3		
				住戸・宿泊	3.0			
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価			5.0			
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価			2.0			
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価			4.7			
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価			2.0			
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価			3.0			
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。			報告する 報告しない	-		
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策						
項目		評価内容			スコア	評価		
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価			2.0	2		
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価			3.0			
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価			2.0			
<b>その他</b>								
先進的技術の導入		技術の名称			考慮事項			
特に配慮した事項								